



こんにちは 東郷まさあきです

日本共産党

ご意見・ご要望をお寄せください
野洲市比江864 (☎589-4158)
2018年9月23日 No.106

養護学校 超満員で大規模化

そもそも「設置基準(最低基準)」がないのが問題



その最大の要因は、養護学校には学級規模や校舎・運動場の面積などの「設置基準(最低基準)」の定めがないためです。

滋賀県内の養護学校に通う児童生徒は10年前の1566人が今年度は2172人と1.4倍に急増していますが、学校・教室の整備は大変遅れています。

新たな養護学校建設が必要。なのに詰込みで対応するだけ

知的・肢体などに障がいがある子どもたちが学ぶ養護学校。昭和54年に義務制が実施され40年近くになります。二十数年は児童生徒が急増し超満員。教室を継ぎ足したり、グラウンドに校舎を建てたりしています。山下芳生党副委員長・参議院議員らが14日、野洲養護学校などの実態調査をしました。野並・工藤市議も参加(東郷市議は市議会委員会)しました。

山下芳生 党副委員長 参議院議員 清水忠史 前参議院議員 らが現地調査

「問題は」と、これまでの政府交渉でも改善を強く求めてきました。しかし、文科省は「障がいの状況に見合った柔軟な対応をするため。設置者である県の判断で対応を」と繰り返すだけです。

超マンモス校の野洲養護開校190人→371人

滋賀県の場合、10年前に野洲養護学校が開校して以降、新たな養護学校は開校していません。野洲養護学校では開校時は190人でしたが、現在では371人にも。県内の各学校では、急場しのぎで、特別教室を普通教室にしたり、建て増しで対応しています。300〜400人もの大規模校は、教育にも影響を及ぼしています。

養護学校で学ぶ児童生徒のうち医療的ケアが必要な子どもたちは、スクールバスにも乗れず、保護者が毎日送迎しています。野洲養護学校では保護者のみなさんから意見や要望をお聞きしました。

「学校に行くことが楽しい子どもの表情をみると自分が疲れていてもがんばって送迎しています」と切々たる訴えが。

山下議員は「すべての子どもたちに学ぶ権利を保障することが大切」と改善の必要性を訴えました。

医療的ケアが必要な児童は保護者が送迎

保護者から要望聞く

「学ぶ権利」の保障を



台風21号 野洲市でも大きな被害が。災害に強いまちづくりを

野洲市の被害状況 (滋賀県発表)	
人的	軽傷2人
公園	吉川公園 倒木150本程度。公園閉鎖
	希望ヶ丘公園 倒木150本程度。フェンス破損2箇所、トイレ屋根一部破損1箇所など。一部使用制限
家屋	住家一部損壊23棟
農業	農業施設 ビニールハウス全半壊・一部破損207棟 倉庫、農協施設関係の一部破損5棟
	農作物 梨落下0.65ha
	耕地関係 濁水機場屋根破損、ため池土砂堆積、水路一部破損など各1箇所
	水産業 漁業施設の一部破損1箇所

市内でも大きな被害が出ています。2名の方が怪我をされ、また、暴風で住家23棟が一部損壊、200棟を超えるビニールハウスが全壊・半壊や一部破損しました。市では開催中の定例市議会で台風関連の補正予算が提案されます。公的支援を受けられる場合がありますのでご相談ください。



ところで、野洲市は4日以降、今なお、市内の被害状況を「現時点では公表できない」としています。ところが市は市民には公表しないで県には報告(左記表)しています。本来、防災の備えや災害に強いまちづくりを進めるうえで、市民に公表するのは行政の責任です。非公表は情報公開を「市是」とする市政に反しています。